

初めて「カンパリア宮殿」見ました。

取っ手かしながら、どういった番組なのか今まで知らずに今回の特集で初めて見ました。エンタロールの村上さんの言葉と愛の讃歌が繰り返れよみがえってきます。

普段の診療の内容である、唾液検査や細菌や唾液について触れられていて、そのコントロールが大切であるという事が見る人により伝わるものだと思う。目の前の事だけにとらわれず、将来を見据えた予防や治療をうけている事や院長がいまも言っている子供の頃からの管理が大切という事がしっかりと伝えられていて安心して見ていました。

村上 龍さんと小池栄子さんのコメントや質問も「自分たちから...」と見ている人にも伝わりやすい表現で良かったと思います。

小學校で沢山の子ども達が、いい顔で歯の授業を聞いたリ一生懸命、鏡を見てハミがきしている姿が素敵だなと思います。ながら見していました。小さな頃から沢山の知識を持って、いい歯を育て、成長していく子ども達の将来が楽しみです。

今回の放送で「自分の歯を守るためメンテナンスを受けたい!」「自分の歯の事をもっとよく知りたいたい!」「歯を守るための受診はうみ健がきかなければ」と広く知ってもらい、感じてもらえる内容だったと思います。

取っ手かかしていただいた奥田さんの存在は大変有難いなと思います。見させてもらいました。有難うございました。

日吉歯科が掲げてきた、短期、中期、長期の目標が結果を出し
現在に至っている事がよく示されていると思いました。

村上龍さんの鋭い感覚は衰えがなく、正確な情報を発信して
いたと思います。物事を俯瞰で見て、歯科医療、医療の未来や、
人々の健康から、この国の将来まで考えていると思いました。

歯科医療を通して社会貢献としている日吉歯科で約30年間
仕事できたことを誇りに思いました。

カンブリア宮殿の放送を見て。

カンブリア宮殿の放送を見て。前回のプロフェッショナル ~~番組~~ にもあったように、「本来の歯科医療とは」について、長期の取材により、より深く、より具体的な診療内容、衛生士と患者さんとの関わりを見ることができました。一番最初の「治療を開始したいのか?」「治療はほしひこの院長の言葉がとてもインパクトを残している、良かったです。

削ってつめる、が当たり前だった^{時代から}「日吉歯科診療所として、患者さんとの向き合い、関わり続けてきた歴史」が、スタジオでの院長の生の声を含め、よく伝わってきました。また、その予防中心の歯科医療は、多くの人の意識を変え、平田牧場などの参画する企業によって、社員健康を守る動きや、小学校での~~授業~~授業にもありましたが、小さな時から教育、学習の大切さなど、酒田市全体として、歯の大切さについての理解が、次々と進んでいると、しっかりと要点をとりえて、取材されていました。

院長の後身につながるように、治療だけでなく、予防に特化した歯科医院もいくつか紹介されていました。今回の放送を見て、考え方が変わり、酒田ではなくとも、身近なところに通おうという人が居るのではないかと思います。

私の印象に残ったシーンは、経営が落ちつくまで、20年近くかかるといふ院長の言葉です。これについて、院長の戦いについて、思いをめぐらせる人もいるのではないのでしょうか。情報開示による患者さんとの相互理解は、最初から、ある考えではなかったと思います。

今回の放送は日吉歯科をとりまく~~環境~~環境や、予防的な考えから広がる、真の患者利益、治療中心の歯科医療に対して、新たな道を示す放送であったと思います。

とす。

一言でいうと、メンテナンスの重要性、必要性がより明確になった番組だと思いました。

虫歯も歯周病も細菌が原因であること、そしていくらつめ直しても被せ直しても細菌を殺すことはできないという白崎さんの説明もわかり易く、患者さんにとっては“目からウロコ”なのではないでしょうか。

そうすると、やはり口腔内の清掃、つまり歯科衛生士による定期的なメンテナンスは不可欠ということにたどり着きます。

小池栄子さんの「歯は口だけの問題かと思っていた」。これが日本国民の大多数殆んどの現在の考えだと思います。

口の健康が全身の健康の源だということ。たとえ顔に多少のしわがあっても口元がきれいな方がずっと若々しい印象を与えることに、と気付いてもらいたいです。

「削ることは歯科医療の失敗であり」に始まる院長の説得力ある話に、「そうなのか」「そうだよね」と思いつながら見る人は、はい、はい、と思うので、院長と村上龍さん、小池栄子さんのトーク、もと見たかったです。(実際の収録はあの何倍もあったのだと思いますか……)

2つの放送で保健行政に大きな影響を与え、制度、国民の意識が変わる予感に明るい未来を期待せずにはいられません。

これまでもテレビの放送を見て期待はずれな事が多かった中で、正直、あまり期待していませんでした。今回、カンブリア宮殿は想像以上でもううれしく思いました。口腔の健康を維持している患者さんたちの笑顔もいきいきとしていてステキだなと感じました。

今回の放送ではどの世代の人たちにも関わりのある歯科医療について、患者さんにとって本当に利益になる事とはどんな歯科医療なのか、また、その価値や保険制度の問題点なども考えるきっかけになるのではないかと思います。

最後の村上 龍さんの「歯科医療を起して」の文章はとても印象に残るものでした。

これから、私たちは、日々歯科のスタッフとして何をすべきを考え、日々い仕事に勤めていかなければならないと思っています。

夏の盆踊りから始まったプロジェクト。

厳しい冬の雪の中寒から登りから始まったカブリア宮殿もまた、常に改善、改革
今の歯科医師を覆す信念で活動されてきたこと、自らの活動のやり
様を再取り組み、視聴者のイメージをはきかに変える決断や努力がまた
ことなど"とことも解りやすく構成されていくと感じました。

初診の流れで"生えてきた"という歯槽の心配、不安などを知り、それが十分に
反省すべき点がありました。

和自身、貴様の心配に寄り添っていたことこそです。

番組を見た後は、自信を持って貴様に、ご協力と参加型の主旨を
伝えたい。"「ふさみなおさけなはの」"との道徳を感じた言葉を
いただくことができました。

今後貴様が過去に受けた医師との違いを奥底にいたるまで
増え、正しい情報を発信にいたるよう向上心を持ってサポートに努めたいと
思います。

近所、遠方からと内い合せが殺到して、毎日です。スタッフ一同
一丸となっていかねければ"との思いが、いつかいいになった番組でした。

今回カンブリア宮殿をみて

家族単位で予防歯科に通う家族をみて、
歯に対する価値観を家族全員が理解し、
共有していたのですごくいいことだなと思いました。
また、小さい子供でもフロスやブラッシングが
しっかりと定着していて感動しました。

小さい頃から治療ではなく、メンテで歯科に
通っているのは、歯科の嫌なイメージではなく、
健康に向か、て歯科に通う大人が増えていくんだ
ろうなと思いました。メンテに通うのがあたりまえの
大人がたくさん増えていくのが楽しみです。

妊婦さんや小さい子供がいる家庭の人に
い、児歯科の大切さをしっかりと伝えていかなけ
ればならないと感じました。

私は成人の方と接することがほとんどですが、
成人では今の自分の口腔内がどんな状態かを
知ってもらい、今後歯を失うことのないよう、

メンテ、ホームケアの重要性をしっかりと伝え
健康に向か、ていけるようにサポートしていきたいと
改めて感じました。カリオロジーやアリオナとしっかりと
知識を身につけ、説得力のある説明ができるように
したいと感じました。

酒田はおいしいものがたくさんあるので、
一生涯自分の歯でおいしく食べ、幸せに過ごして
もらえよう、サポートしていきたいです。

カンブリア宮殿を見ての感想

予防の大切さ、自費メンテナンス、口腔の健康の価値についてとてもわかりやすい内容でした。本来の歯科医療のあり方を理解し、視聴した多くの方々が自分の歯に関心を持ち、本当の価値をわかってもらえると思う嬉しいです。

日々の診療の積み重ねが社会への啓蒙活動につながっていること、自覚して毎日のそばなくてはならないと強く思いました。

私は日吉歯科に入ってこの半年間、自分が社会に貢献できているかどうかということをよく考えるようになりました。

取得した歯科衛生士の資格を患者さんの健康のため、おしみなく活用していきたいし、その活用できる場が日吉歯科であり、整った環境で働けることに改めて感謝します。

U20として健康な子供たちを多く育てること、大人になってから健康を自分で維持していく力を持つてもらえるようにすること、いつも忘れずに日々の診療に取り組み、患者さんがその目標を達成するのに私も貢献できるよう、もう一度気をひきしめてがんばっていきたいと思いました。

カンブリア宮殿についての感想

これからあふい生事科医療を導いていく

院長の姿勢や取り組みは視聴者に

伝わり、心ではなにかと思われました。

これこそ若い世代に伝えて日本全体に世界に広げて

作事も健康に「ふたり」と思いました。

私達スタッフもこれから日吉事科の新しい方向性を持つ

頑張り、てゆえに、と思っています。

これから自費がほとんどになります。(X-CT+入)

丁寧で、優しく受け止めて、患者さんは納得してくれたいと思ったり

プラス迅速かつ的確なアドバイスが、必要な時代です。

これから、心がけを持ちつつ仕事をし、てゆえに、と思っています。

1月28日の放送当日に関東に住む友人から「カンブリア宮殿で日吉歯科やってるよ」と連絡が来て、私も早く見たい、と楽しみにしていました。酒田では放送されていない番組ですが、BSで再放送されているのを観たことがある人など私の周りでも知っている人は多くいて、今回TUYで放送されるということで嬉しく思いました。

番組を拝見して、最後の村上龍さんの言葉が胸に響きました。

恥ずかしながら日吉歯科に勤めるまでは差し迫る日本の現状など知らず、健康保険の制限の中で歯科医療に従事することに疑問を持つこともありませんでした。しかし、実際に財政の破綻による医療制度の崩壊は目前であり、実際に起こっている問題でもあることを知り、予防の重要性を強く感じてきました。

歯科に限らず、病気になってから、困ったことが起きてから後悔をする方が多いと思います。そのことから、番組の中で家族、学校というコミュニティで予防に取り組む姿を見ることができ、改めて子供や若い方へ向けた情報の発信や教育の大切さを感じ、それが80歳で1本も歯を失わず健康に生活する高橋さんのような姿へとつながっていくのだと思いました。正しい知識を伝える歯科衛生士の存在は不可欠であると思います。

「歯科医療を超えて」という言葉はこれまでの院長先生や日吉歯科の成果への大きな称賛であり、これからの日吉歯科にさらなる期待を寄せる言葉に感じました。日吉歯科で行われている歯科医療の形が日本の歯科医療のスタンダードになるように、予防という考えが広く普及できるように、これまでの先輩方の活動を引き継ぐ者としてこれからも気を引き締めて取り組んでいきたいと思いました。

カンブリア宮殿を見ての感想

村上龍氏が番組公正や編集などを担当していると院長が話していた。膨大な資料や映像の中から歯科界の問題点や、日吉歯科で取り組んでいる啓蒙活動が、どのような意味を持ち、今後の社会全体で取り組まなければいけない内容が的確に放送されて切れ味抜群だと思った。

なりより私達スタッフが日々患者さんに伝えたい思い、自分の歯の価値観やメンテナンスに通院することの重要性、そして口腔の健康が全身の健康にも寄与していて、自分の歯で噛めることが重要であることが分かり易く表現されていてさすがだと思った。

今回は U20 の部分も放送されていて、一生自分の歯で過ごすためには幼少期の歯科の掛かり方が重要で、酒田市での小学校の教育や地域での取り組み、また日吉歯科としてのチーム医療がよく伝わったのではなかと思う。

それにしても今年は雪が降る日が少なかったにも関わらず、これぞ雪国酒田！の映像が撮れたと思う。本当にあの映像をみていると、なぜこんな田舎に日吉歯科と私達でも正直思うことがある。

しかしそこに歯科医療者としての思いがあり、院長のブレナイ考えと、日々の小さな仕事を真面目にコツコツ地味に積み上げてきて先輩達と、蓄積された資料やデータあるから日吉歯科なのだと思う。そこで何をするのか？ということが問題なのではなかと思う。

日吉歯科の衛生士というと羨望の眼差しで見られるが、日々の患者さんときちんと向き合うこと、地味なこともコツコツするからこそやっぱり日吉歯科なのかなと思う。

これからの DH として、それだけでなく地域や社会で使命感をもち、地域の人々や日本の DH の指標になれるように努力することが重要だという事を自覚して、仕事に取り組んでいきたいと思った。

カンブリア宮殿視聴感想

2014年に放送されたプロフェッショナル仕事の流儀に続き、日吉歯科がTV東京のカンブリア宮殿という番組で放送されました。この番組は、限られた放送時間の中で、MCの村上龍と小池栄子とのトークで院長がどのように対応して、どのようにお話するのか、また日吉歯科をどのようなイメージで放送してくれるのか、とても楽しみであり興味がありました。

今回、NHKに続き、民放でも日吉歯科の取り組みや活動が放送された事は、私達日吉歯科のスタッフにとってすごく誇りであり、名誉であると感じました。

この放送によって、予防治療の大切さ、そして日吉歯科と同じ考えを持った歯科医院が酒田から全国へ広がっている現状を視聴者も知る事ができうれしく思いました。今後は、番組で紹介された平田牧場のような健康経営の企業が益々増える事を期待しています。

村上龍の編集後記、
熊谷先生と日吉歯科の成果は、歯科医療にとどまることなく、
社会全体に波及すべき重要な啓蒙活動となっている

この言葉はとても印象に残りました

カンブリア宮殿 感想文

今回カンブリア宮殿の取材を受る中、ディレクターの方たちの賢明な姿勢を感じ、今回はどのような構成の番組になるのかとても楽しみでした。

番組を実際拝見して、率直な感想として、日吉歯科が皆に伝えたいことがきちんとまとまっていると思いました。飾ることもなく足りないところもほとんどなく、真の歯科医療の在り方や私たちがどのような思いで日々診療し、啓蒙活動を行っているのかをしっかりと伝えてくれたように感じます。

メンテナンス費用と治療費のパネルが大きく出たことで、メンテナンスを受けることが、国の財政面も、患者さんにも、歯科医療においても、すべてにおいて良い結果を導くことが視聴者の方に伝わったのではないかと思います。

そして、メンテナンスは自費診療であることがしっかりと伝えられており、今これから自費化にしようとしている歯科医院にとっては患者さんの理解もしていただき易くなったと思います。

平田牧場が普通の健康診断と同様に、メンテナンスのサポートしているモデルを公表していたことで、健康推進している企業がそのようなシステムを今後積極的にとってくるのではないのでしょうか。

いずれにしても、歯科業界よりももっと早い速度でほかの業界や企業などではメンテナンスの価値に気づき始め、需要がどんどん求められてくるように思います。

その時に受け皿になる歯科医院がきちんとしたシステムを整えておけば、一般的な歯科医院とは断然差がつくと思います。

一般的な歯科医院は問題外で、MTMはもう当たり前だと思いました。

患者さんの口腔内を生涯にわたって健康にするという日吉歯科の考え方はどんどん広まっていくとともにそれを求める患者さんは増えていくと思います。

村上龍さんの最後の言葉、心にしみました。

私たちは間違いのない方向へ進んでいると確信しました。

院長の言うとおりに、「メンテナンス自費化は間違いじゃない。乗り越えたら絶対にイノベーションが起こる。」本当でした。

カンブリア宮殿を見ながら、10年先20年先を見据えた仕事が出来ていることに誇りを感じました。

日吉歯科は開業当時から患者の生涯を真剣に考え
磨き添え口腔の健康をサポートして全身の健康へと
寄与してきました。

又地域の企業、学校、医療現場に対する啓蒙活動により
地域住民の健康意識を高め広めてきました。

そして歯科医療の改革により医療費の削減にも
つなげられたのだと思います。

これらの沢山の地道な取り組みを、村上龍さんは
評価して下さいと感じました。

カンブリア宮殿を見ての感想

日吉歯科のこれまでの取り組み、これからの歯科医療のあり方が、とてもわかりやすく映し出されていました。村上龍さんの的確な質問、小池栄子さんの視聴者目線のコメント、とても共感が持てる内容でした。

村上龍さんの収録を終えての 記 が、BGMと流れてきた時、涙が浮かびました。院長・私たちが皆さんに伝えたいことがまさにその 記 だったからだと思います。村上龍さんだけでなく、カンブリア宮殿を見た方がそう感じていることを期待します。

歯科医療と、虫歯治療ばかりを望む患者さんの考えが変わるよう、そして、日本が変わるようこれからますます頑張っていかなければいけないと思います。

カンブリア宮殿の放送を観ての感想

「口腔の健康を破壊する歯科医療」

「口腔の健康を守り育てる歯科医療」

両極端ではありますが、日本の歯科界ではこのことが当たり前に起きています。

社会的責任において、歯科に携わるライセンスを得た者として、日吉歯科では開業して 36 年間、院長のリーダーシップのもと、口腔の健康を守り育てる歯科医療を行ってきました。まさに、この取り組みが世の中に認められる内容の番組ではなかったかなと思います。

少子高齢化を迎える昨今、今後さらに財政が難航することは誰もが何となく感じています。しかし、歯科界においては、口腔の健康を破壊する歯科医療に対する対策がとられず、いまだに口腔の健康を歯科医によって破壊され続けています。このままでは、国民の口腔の健康が守られないどころか、歯科医により口腔の機能が破壊され、国の負債がさらに増え、働き手が減り、高齢者が増え、日本の将来はいったいどうなってしまうのでしょうか？このまま、この現実を何もせず見過ごすことはできません。プロフェッショナルに続き、カンブリア宮殿が放映され、日本の歯科の実態を国民に知らせる大きなチャンスが巡ってきたように感じます。このチャンスを機に、多くの人に歯科の実態を知っていただき、口腔の健康の価値を高めていきたいと思います。今、私たちが起こした行動が良い意味でも悪い意味でも次の世代に確実に影響します。明るい未来につながるよう、歯科界が口腔の健康を守り育てる歯科医療に転換するよう、今後も情報発信をしながら、臨床とデータを積み上げていきたいと思います。

カンブリア宮殿を見て

前半では、初期治療の必要性や、メンテナンスを受け続ける事の大切さと、それをする事による効果などよく表されていると思った。

また、後半では、医院に訪れる患者さんばかりでなく波及効果で、市民が様々な形で歯や口腔のことを考えるようになるまでに日吉歯科の取組みが影響を与えているのだと感じた。村上龍さんとの対談では、一歯科医、一医院の取組みが起爆剤となり、広く、医療費全体の問題、社会全体に影響を与えているという見方をされていて、35年間のぶれない院長の考えと実行されてきたことの重みを改めて感じた。この番組から今後も様々な影響を与え続けるであろうことが想像される。

カンブリア宮殿のDVDを見て

日吉歯科で日々働いていると、予防は当たり前で、質の高いメンテナンスも当たり前と~~思~~ってしまっている感覚がありました。予防によって口腔内の健康を維持している事の価値がどのほど高いか改めて感じる事もできました。

今更であり、むし歯や歯周病の原因が細菌による感染症だという事は、特には一般的に教えられる事もないし、知れ渡っている訳でもありませんでした。多くの方は痛くなったり、トラブルがあった時に歯科受診をして削られたり、詰められたりした訳ですが、それを、予防するには、質の高いメンテナンスも定期的に行う事が重要だと放送で指し示してくれた事は、放送を見た人にとっては、目が覚めろ思ったものではないでしょうか。

私たちは、グレーゾーンで隠さなく正しい原因と対策、予防などの正しい知識を得る必要があり、自分で正しい歯科医を選ぶ努力も必要です。

正しい事を正しくブレずにやって来た院長が酒田で開業してくれて良かったと思いました。

80代で自分の歯でバリバリせんべいを食べれる幸せ。一人でも多く、歯が健康でいられる人が増えるように全国に散らばった、セミナーを受講した歯科医の先生方の取り組みが根づいていくように心がけ日本の未来も変えられるのではないかと思います。

日吉歯科の取り組みが正しく伝えられていて、とても素晴らしい放送だと思いました。

カンブリア宮殿を見て

今回は医院全体としてのくくりで構成されていて、プロフェッショナルとはまた違ったように伝わるものがありました。私は特に U20 の予防に重点を置いているように感じました。カリエスにせず自分の歯で一生健康で生きていくことが可能であること。そのためには、小学校1～6年生までに基本的な知識を教育していくことでそれを“常識”とし、削ることなく二十歳を迎えることができれば一生自分の歯で食べることができるということが伝わる内容となっていたように思います。更に 40 代から上の成人には、自分の歯で失敗した経験をしっかり伝えることで、後世に繋ぐことが必要となってきます。そこで必要となるのが、歯科衛生士による病因論の説明や、個々に合ったホームケアの必要性や方法を正確に伝えるということになると思います。私が歯科衛生士となったからには、このライセンスに見合った仕事をしていきたいですし、そのためには、これまでの 35 年間の積み重ねをしっかりと引き継いでいきたいと強く思いました。

まだまだ日本人の常識は“削って詰める”ですが、メディアを通し、“予防”することの大切さがだんだんと広く伝わっているように感じています。しかしその患者さんを受け入れられる歯科医院がまだまだ少ないのが現状。巷で広がりつつある“今の常識”が、近い将来“日本の常識”になることを切に願っています。

カンブリア宮殿感想文

院長が35年前に酒田に開業し、予防とメンテナンスの信念をブレルことなく貫いた長年の取り組みは本当に素晴らしいと思いました。

初診時の検査の必要性やMTMの流れ、患者教育の大切さを分かりやすく見る事ができ日々日吉歯科で行っている予防の大切さ、口腔の健康は全身の健康であることを1人でも多くの患者さんに感じてもらえたのではないかと思います。

私はこの恵まれた環境で仕事ができることをありがたく、楽しくお仕事をしています。スタッフみんなが患者さんの為に一生懸命に取り組んで日々成長し続けています。

日本人の予防の取り組みについての理解は、歯科にとどまらず医療にとっても国の財政にも問題があり危機感を感じなければいけないと思います。

院長の予防の取り組みは歯科医療を超えて社会全体に活動しているのだと感じました。

カンブリア宮殿を観て

今回カンブリア宮殿を観て一生自分の歯で食べることのメリット、歯の健康が体の健康に大きく影響しています。

〔口腔の健康＝全身の健康〕につながる事を一般市民に伝えることの重要性再確認しました。また来院している患者さんにも正確な情報を提供することにより、患者さん自身の意識を変え、患者さん自ら考え予防の大切さを自覚し、受身でなく自分の歯で食べることの価値を導くために、今自分に何ができるか、日々考えながら仕事に取り組んで生きたいと感じました。

最後に村上さんのメッセージ、予防医学の国民的理解と普及は歯科に限らずすべての医療にとって、さらに財政にとってもきんきんの課題である。予防を自分への将来の投資と考えていること。言葉の重みを深く感じ取りました。

カンブリア宮殿を観て

この番組を通して、歯は痛くなった時に詰めて終りという治療第一の診療から、生涯自分の歯で食べることの喜び大切さ、口腔の健康が全身への健康に寄与していること、そのための定期的なメンテナンスがいかに重要か、予防が歯科医療の価値であることが視聴者に伝わってくれたらいいと思いました。船越さんの家族のように、家族単位で来院することで子供の頃から予防の意識が高まることが大切だと思いました。

また私達歯科医療にたずさわる者はどこに患者利益はあるのか、歯科医療の本当の価値は何なのかを考えるとともに歯科医療制度の現状を見つめ直し今の医療制度が崩壊する前に、この現状を国へ発信し問題解決をしなければならないことを感じとってもらえた内容だったのではないかと思います。

カンブリア宮殿 感想

こちらの地域では放送されていない番組のため、どのように展開していくか興味深く拝見しました。

予防で大きな役割を担っている歯科衛生士業務に関して、様々なツールを活用し、患者さん自身に気付きを与えることでメンテナンスの重要性、価値の理解を深めることにつながるということ。

U20の取り組みでは、低年齢児からの歯科受診の重要性、家族単位での来院は、健康観を高め合うことにもつながるということがよく伝わってきました。

日本の保険制度の問題やOP育成セミナーを受講された医院の取り組みも取り上げられ、患者さんに向けて、歯科医療従事者に向けて、様々な角度からのメッセージや問題提起によって、歯科医療の本来あるべき姿が明確に示されたと思いました。

番組の最後の村上龍さんの言葉が心に響きました。

常に未来を見据えて、生涯にわたり口腔の健康を維持するという価値を高め、伝え続けていくことの重要性を改めて感じました。

「カンブリア宮殿をみての感想」

DVDをみて 今ここに日吉歯科があるのは院長やそれを支えてきた先輩たちの努力が、この事とつくづく感じました。

先輩たちが引退してもそれを引き継いで 私たちが日吉歯科を守、ていかなければならないと思いました。

日本全国の人たちの口腔に対する意識が 変わるようなリーダー的存在である日吉歯科が また一つのよい手本となり、国の方針である健康保険の見直しの手助けとな、ていけるように日本全体の歯科界が変、わ、ていく事を目標にして日々、頑張、ていきたいと思いました。

カンブリア宮殿を見る

カンブリア宮殿は、トークライブということで、院長に対する質問や話の中で、歯科へのこだわりや歯に対する意識、健康観など、日本の国民の一般的な声を聞けたように思います。

酒田においては、一生自分の歯で食っていくことを目標に予防ということが普及しています。日本ではまだまだだと痛感しました。

でも、この番組を通して、一生自分の歯で食っていくことのメリット、歯は歯としてだけと考える、口腔の健康は全身の健康につながる、定期的なメンテナンスの重要性、予防が大切なこと、本来の歯科医療のあり方を多くの方に理解してもらえたのではないかと感じます。

また、歯科医療者にとっても、歯科医療の本来の価値を理解してもらい、削り、つめるかぶせるの治療型から予防中心型に変えていき、患者さんを受け入れる診療所が日本各地に多く普及していければと思います。

院長とふじ子先生は、開業当初からの先輩方と共に幾多の困難を乗り越えて、今日を築き上げてこられたと思います。今、これだけのシステムが構築されている中にいる私には、分かり知れない多くの苦労があったと思います。

院長とふじ子先生、先輩方が積み上げてきた白舌歯科を、今いるスタッフが受け継いで、本来の歯科医療のあり方、健康な歯の価値を多くの方に理解してもらえるように、今後も衛生士として私自身、努力してまいります。

村上龍氏の院長と白舌歯科の成果は、歯科医療にとどまらず

社会全体に波及すべき重要な啓蒙活動になっている。

歯科医療を超えて、心臓に刻んでいきます。

カンフルア 宮殿 を見て

開業から 35 年。

患者さんからの苦情が殺到したから。信念を曲けず

「予防」の必要性を訴え続けてきた院長と当時を共にしてきた
歯科衛生士、スタッフの努力は並大抵なものではなかった事。
また、常々院長が言っている「患者利益の為」という患者さんへの
強い思いを改めて感じました。

地域の人達にとってメンテナンスは必須であるという事は実感
されています。

また、歯が萌え始めたから来院されている患者さんも多く
今までの日吉歯科の訴えが受容られているからかもしれません。
このような事は、酒田だけでなく、日本全国にもっと
広がり、国民はもっと、国の財政の改革となることを
願います。

日吉歯科の一スタッフとしての誇りを持ち、少しでも貢献していきなと
強く思いました。

最後に、村上龍さんの「インフォーマに頼る身として、子どものころ、
熊谷先生のような歯科医が身近にいたらどんなに助かっただろうと
切実にそう思う。」は今日のカンフルア宮殿を見た方々に
強くひびくだろうと思いました。

もちろん私自身にとってもこれから仕事を続けていく上で
とても印象に残る言葉となりました。

取材された方々 本当にありがとうございました。

カンブリア宮殿を見ての感想

これまで日吉歯科が取り組んできたことが患者さんの口腔を健康にし、健康な口腔内を守るためにはメンテナンスが必須ということ。そのために大切な事は歯に対する健康の価値をよく理解すること。生涯自分の歯で食べるということがどれだけ私たちの身体の健康にとって大事な事かということから、番組を通して健康な歯の大切さを考えることとなったのではと思います。歯を健康のためには自分の口の中をよく知る、そのためにはしっかり検査してくれる歯医者さんが必要なので日吉歯科のような予防歯科の取り組みが全国的に行われていくことも必要だし、歯を大切にすることにとどまらず、歯の健康が体の健康にもつながり、健康な人が多くなることで医療費の削減につながることで考えられる、改めて歯の健康って大事なんだということが感じられたと思います。歯の健康の価値を考えるにはそれを伝えることも大事なので、治療を頑張ってよかった、メンテナンスに来てよかったと思ってもらえるようにこれからも患者さんの気持ちに寄り添いながら対応していきたいと思いました。

カンブリア宮殿を視聴して

―昨年放送のプロフェッショナル仕事の流儀に続き、日吉歯科の取り組みが取り上げられる番組が見られるのを楽しみにしていました。

医療費について、生涯メンテナンスを継続した場合とドリル、フィルの歯科治療を繰り返した場合とでは、医療費の総額を比較するとメンテナンスの方が費用が抑えられるということが数字で具体的に示されていました。番組中で院長がこう言っていました。「現在口腔内が健康である人も健康増進で先々医療費がかからない証明もできる。」歯科医療の本質を貫くことで、健康に寄与するだけでなく、医療費を抑えることにつながるがよく理解できました。

また、今年の4月から汐留での開業に携わるスタッフの立場として、酒田市民の1割が日吉歯科に来院しており、予防が定着している酒田では診療がいかにもスムーズに行えているか、ということを改めて感じました。番組を観て、日吉歯科の取り組みがいかにも口腔の健康、加えて全身の健康とさらには医療費の抑制に寄与しているかということを再確認できました。汐留という新しい土地でも、患者さんの利益のために、酒田で培ったものを十分に発揮できるよう励む決意ができました。

2016年1月28日放送「カンブリア宮殿」の感想

「一生自分の歯で食べたいと思っていた」

「自分の考えにぴったりの歯医者が見つかった」など、放送終了後首都圏を中心に、北海道、大阪、岡山などから毎日電話での問い合わせや、汐留診療所の予約を頂いています。

普段、山形では放送されていない「カンブリア宮殿」。

調べてみると、「旬の経済人をゲストに迎える経済トーク番組」というだけあって、ロケ部分の編集、構成はもちろん、スタジオでの院長と村上龍、小池栄子とのトークがとても自然で、どんどん話の内容に惹きつけられました。

今回のカンブリア宮殿では、予防を続けた場合と、メンテナンスを続けた場合の生涯の金額を比較したことによって、メンテナンスを継続し、口腔の健康を手に入れ、生涯自分の歯で食べられることは、削って詰めるより、価値があること、また、メンテナンスの費用は、自分への投資であることが、よく伝わりました。

また、これまでの「歯医者は痛くなったら行くところ」という考えに、一石を投じ、歯科の通い方について、多くの方に考えて頂くきっかけになったと思います。

昨日、電話でお話しをした50代の女性は、「次は痛くなったら来て下さい」という歯医者に20年通院した結果、臼歯を中心に多くの歯を喪失してしまった、といいます。普段、日吉歯科で働いていると、メンテナンスが当たり前のように感じますが、「正しい歯科のかかり方」「正しい知識」を、広く伝えていくことも日吉歯科の使命のひとつであることを、改めて考えさせられました。

<カンブリア宮殿>

院長の揺ぎない信念と、院長と一緒に闘ってきたスタッフのみなさんの努力があったからこそ、少しずつ、少しずつ、最初は日吉町、酒田市、山形県、そして今は日本中、世界中へと歯科医療の真の価値を伝えることができていますのだと思います。手作りの資料作りから始め、本当に地道な努力の積み重ねだったのだと感銘を受けました。

今は院長をはじめ、先輩スタッフのみなさんが築き上げてきたものがあるので、とても仕事しやすい環境にあるのだと思います。その環境の中で仕事ができるということに感謝し、今まで以上に気を引き締めていこうと思います。私が歯科衛生士としてできることを精一杯努力していきたいです。

患者さんにあらゆる情報を丁寧に説明し、予防するための正しい知識を持ってもらう。そして、今までの生活習慣を見直し、正し、ホームケアを改善させて、生涯自分の歯で食べられるよう、生涯メンテナンスに通ってもらえるよう、しっかりと指導していきたいです。

今までの築き上げられたものを大切にしなが、新しいものを吸収し、もっともっと全ての人に予防医学、歯科医療の価値、口腔の健康＝全身の健康だということを伝えられるように、私もスタッフの一員として一緒に頑張っていきたいです。将来、う蝕、歯周病が本当にまれな疾患となれば、と思います。